

### 1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	ビジネスコミュニケーション I		
講義名（コード）	TCR_ビジネスコミュニケーション I_D		
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	2学年
対象コース	英語ホスピタリティコース	単位数	2
授業担当者	竹内 通子	時間数	30
成績評価教員	竹内 通子	講義期間	春学期
実務者教員		履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

### 2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	国際力・人間力教育における、コミュニケーション分野の学びの中で、学生が就業後の課題遂行能力を高めるために、ビジネス場面での専門的な話題でやりとりができるようになる。
全体の内容と概要	N2の文字語彙と読解を中心に学ぶ。たくさんの文章に触れ、ビジネスに必要な言葉を身につけ、ビジネス文章を素早く理解する力をみにつける。
授業時間外の学修	
履修上の注意事項等	学生の希望等によりスケジュールは変更する場合がある。出席が2/3以上の場合はのみ成績評価を行う。満たない場合は単位不合格になる。

### 3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	2/3以上の出席		
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率×0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

#### 4. 本授業科目的授業計画

回	到達目標	授業内容
1	使用されている言葉の意味を文脈に沿って正しく理解する	新完全マスター語彙N2 必ずできる！JLPT「読解」N2 Step 1 Level 2 練習問題8日目
2	使用されている言葉の意味を文脈に沿って正しく理解する	新完全マスター語彙N2 必ずできる！JLPT「読解」N2 Step 1 Level 2 練習問題8日目
3		演習問題
4	書かれている内容を正確に読み取る力を養う	新完全マスター語彙N2 必ずできる！JLPT「読解」N2 Step 1 Level 2 練習問題9日目
5	書かれている内容を正確に読み取る力を養う	新完全マスター語彙N2 必ずできる！JLPT「読解」N2 Step 1 Level 2 練習問題9日目
6	様々な設問に対して的確な解答が選択できるようになる	新完全マスター語彙N2 必ずできる！JLPT「読解」N2 Step 1 Level 2 練習問題10日目
7	様々な設問に対して的確な解答が選択できるようになる	新完全マスター語彙N2 必ずできる！JLPT「読解」N2 Step 1 Level 2 練習問題10日目
8	内容を正確に理解し流れを把握する	新完全マスター語彙N2 必ずできる！JLPT「読解」N2 Step 2 Level 4 11日目
9	内容を正確に理解し流れを把握する	新完全マスター語彙N2 必ずできる！JLPT「読解」N2 Step 2 Level 4 11日目
10		JLPT模試
11		JLPT模試
12	空欄補助の力を養う	新完全マスター語彙N2 必ずできる！JLPT「読解」N2 Step 2 Level 4 12日目
13	空欄補助の力を養う	新完全マスター語彙N2 必ずできる！JLPT「読解」N2 Step 2 Level 4 12日目
14		期末試験
15		期末試験解説

#### 5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	新完全マスター語彙N2 必ずできる！JLPT[読解] N2
参考文献・資料等	
備考	